独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェロー（建築史学）の公募について

国立文化財機構
令和8年11月9日

このたび独立行政法人国立文化財機構では、職員(アソシエイトフェロー)を公募することになりました。
応募を希望する方は、写真を貼付した別紙履歴書ほか必要書類を送付してください。

1.職種	独立行政法人国立文化財機構文化財防災センターアソシエイトフェロー
2.採用予定人数	１名
3.勤務場所	（雇入れ直後）文化財防災センター（奈良県奈良市二条町2-9-1奈良文化財研究所内） （変更の範囲）変更なし
4.雇用期間	令和9(2027)年4月1日～令和12(2030)年3月31日（3年間） （試用期間：採用日より3ヵ月　勤務条件の変更なし）
5.更新の有無	契約は更新しない
6.分野	建築史学
7.職務内容	（雇入れ直後） 1.文化財建造物の保存修理に係る資料（図面、写真、野帳等）の調査研究、整理、分類、デジタル化等のアーカイブ作成。 2.上記職務遂行に要する専門性向上のため、文化財建造物及び文化財防災の関連業務に携わることもあります。 （変更の範囲） 変更なし
8.勤務様態	①勤　務　日　月曜日～金曜日 ②休　　日　土曜日・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ③勤 務 時 間　始業9:00～終業17:00（1日7時間） 休憩時間　60分（12:00～13:00） ④休　暇　等　年次有給休暇有 ⑤その他休暇　夏季休暇・忌引等（有給） ⑥受動喫煙防止措置の状況　敷地内原則禁煙（喫煙専用スペースあり） ＊超過勤務、休日勤務等の可能性もあります。 ＊詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則等によります。(独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトにてご覧いただけます。URL：https://www.nich.go.jp/)
9.給与等	①年俸3,960,000円（月額330,000円）（※②を含まない額です） ＊月額基本給（年俸の12分の1の額）を毎月17日に支給します。 ②その他手当等（該当時に支給される手当） 通勤手当（月 150,000 円上限)、超過勤務手当、休日給、夜勤手当 ③保険等　雇用保険、健康保険（文部科学省共済組合短期給付)・厚生年金加入 ＊詳細は「独立行政法人国立文化財機構アソシエイトフェローの就業に関する規則」等によります。(独立行政法人国立文化財機構ウェブサイトにてご覧いただけます。URL：https://www.nich.go.jp/)
10.応募資格	応募資格は以下のとおりです。 ① 大学院で建築史学の領域を専攻し、修士の学位を有する者（令和９年３月までに修了見込みの者を含む)、またはそれと同等の研究業績を有する者。 ②文化財建造物の保存修理に関して実務経験もしくはアーカイブ業務の経験がある者、または大学研究機関等において同内容に関する研究、指導助言等の実務経験がある者が望ましい。
11.選考方法	①第１次選考　書類選考を行います。 ②第２次選考　第１次選考合格者に対して以下の試験を実施します。 ・筆記試験　専門試験（建築史学、文化財建造物保存修理に関する設問） ・面接試験 **＊第２次選考は、令和９年２月 12 日（金）を予定しております。日時・試験会場等詳細については、第１次選考合格通知時に別途連絡します。**
12.採用予定者の決定及び通知	第1次選考及び第2次選考の結果を総合的に判断し、採用予定者を決定します。 選考結果は、第1次選考については令和9年1月下旬頃、第2次選考については令和9年2

	月中旬頃に、合否にかかわらず本人宛に文書もしくは電子メールで通知します。
13.提出書類	以下の書類をご提出ください。なお、郵送にて提出の場合、書類はA4片面印刷、クリップ止めにて提出してください（冊子、ホチキス止め不可）。 ①履歴書（様式1　PC作成可　写真貼付　A4片面印刷） ②研究業績調書（様式２　PC 作成可　A4 片面印刷　クリップ止め） ③これまでの実務的業績目録（様式自由　PC 作成可　A4 片面印刷） ④研究業績の別刷（A4 片面印刷） 主な研究業績(論文等)の別刷を 1 点提出すること。 冊子不可。冊子の場合は必ず A4 片面コピーをとったものを提出すること。 修士・博士論文等提出時は、日本語で 4,000 字以内のレジュメを添付すること。 ⑤卒業（修了）証明書、もしくは卒業（修了）証書をコピーしたもの （大学学部以上の全て。外国語による場合は日本語訳を添付すること。） **＊推薦書添付可（必須ではありません。）** **＊ご提出いただきました書類は返却いたしません。** また、ご記入・ご提出いただきました個人情報は、当公募の管理・審査以外の目的に使用いたしません。（当法人の文書管理規程に基づき厳正に管理いたします。）
14.応募方法等	**①応募締切　令和 9 年 1 月 21 日（木）17:00 必着** ②当選考案内は文化財防災センターウェブサイトからダウンロードが出来ます。 （URL：https://ch-drm.nich.go.jp/） ③郵送にて提出の場合、封筒に「アソシエイトフェロー応募書類在中（建築史学）」と朱書きし、受領の確認できる簡易書留、レターパック等により提出してください。 ④メールにて提出の場合、メールのタイトルを「アソシエイトフェロー応募（建築史学）」として、全ての書類をPDFにして添付してください。メールでの提出後、担当より受付完了のメールを送信します。提出後、応募締切日を過ぎても受付完了のメールが届かない場合は、下記宛お問い合わせください。 ⑤提出先・問合せ先 独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター総務担当 〒630-8577　奈良市二条町2丁目9番1号 奈良文化財研究所内 TEL：0742-31-9056 / E-mail：bosai-soumu[at]nich.go.jp （メールアドレスの[at]は@に変更してください）
15. 募集者名称	独立行政法人国立文化財機構
16. その他	国立文化財機構では、学生を含むあらゆる求職者等の皆さまが安心して就職活動等が行えるようルールを定めています。機構の実施する採用活動等を通じ、就職活動上のハラスメントに遭われた、あるいはその疑いがある場合は、相談窓口までご連絡ください。 就活ハラスメント防止及び相談窓口のご案内 ｜ 国立文化財機構 （https://www.nich.go.jp/news/132963/）

(様式 1)

履　歴　書

令和　年　月　日 作成

写真貼付欄
画像データを枠内に貼付
最近3月以内に撮影のもの
上半身, 正面向きの写真
白黒・カラーどちらでも可

ふりがな	性　別 ※1
氏　名 ※2	
生年月日 昭和 ・ 平成　　年　　月　　日生(　　歳)	

ふりがな	電　話
現住所 (〒　—　) 方	
ふりがな	電　話
その他連絡先(海外在住の方は日本における連絡先を必ず記載のこと。) (〒　—　) 方	
メールアドレス(添付ファイルを受信できるアドレスを記載のこと)	

※1「性別」欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。
※2 旧姓使用をご希望の場合は氏名に旧姓を併記してください。(例：山田（旧姓：田中))

区分	年	月	学 歴 ・ 職 歴 等	
学歴	年	月	高 等 学 校 卒 業	
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
	年	月		
職歴	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務
	年 年	月から 月まで		週　時間勤務

区分	年	月	資　格　等
資格	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	
	年	月	

現 在 の 勤 務 先

ふりがな
名　称
所在地 (〒　　－　　) TEL(　　)　　－
職種及び職務内容(具体的に)

自 己 紹 介 欄

志望動機・当センター勤務における抱負・アピールポイント
専攻(専門分野)及び所属学会等
主要論文等テーマ(応募時添付のもの)
語学・資格 英語　(1　2　3　4　5)　　他の外国語 TOEIC　　点(取得年　　)　　＿＿＿＿語(1　2　3　4　5) 英検　　級(取得年　　)　　資格試験(　　) レベル(　　)
どちらで、この度の公募をお知りになりましたか？　該当の□にレを記入してください。 □ 文化財防災センターのウェブサイト　　□ 独立行政法人国立文化財機構ウェブサイト □ JREC-IN(研究者人材データベース)　　□ その他(　　)
勤務開始可能日・その他

履 歴 書 記 入 要 項

（1）任意項目を除きすべての欄に,正しく記入すること。記入事項がない場合にも,該当欄内に「なし」と記入すること。記入不足がある場合には,申込みを受け付けないことがあります。また,虚偽の記載がある場合には,採用される資格を失うことがあります。
（2）年は和暦（元号）で，数字は算用数字，ふりがなはひらがなで記入すること。
（3）職歴欄にはすべての職歴を履歴順に記入し，非常勤の職の場合は週あたりの勤務時間数を明記すること。資格・学位は主なものを選んで枠の数以内で記入すること。また,取得見込の資格等も併せて記入すること。
（4）語学欄は下表を参考にして，本人の語学力に最も近いと思われる番号を○で囲むこと。
（5）他の外国語欄も下表に準じて記入すること。

1	高校までの授業や大学で履修したことはあるが、以後ほとんど使用していない。又は一切忘れてしまっている。(CEFR A1)
2	身近な言葉をゆっくり話してもらうと最低限理解できる。 外国への出張や旅行、又は、外国人の来訪の際など、必要に迫られれば、自分の身の周りの会話は努力して使っている。一応、ある程度定期的に自分で学習する努力をしている。(入門・初級 CEFR A2) (英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ３７０点程度若しくは英検３級程度)
3	日常生活に必要な言葉であれば、要点を理解し応答に支障はない。仕事上で、手紙や短い文章を読んで理解することはできる。(中級 CEFR B1) (英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ５６０点以上若しくは英検２級程度)
4	仕事である程度のコミュニケーションが取れる。仕事上の必要があれば資料を使って概要を説明できる。一応の電話等の対応ができる。(中上級 CEFR B2) (英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ７６０点以上若しくは英検準１級程度)
5	仕事で十分なコミュニケーションが取れる。外国語での書簡を読んで、返事の下書きを書いたり、外国語による会議に出席して、その概要をまとめたりできる。(上級 CEFR C1) (英語の場合、目安として、ＴＯＥＩＣ９４０点以上若しくは英検１級程度)

例　　英語（１２３④5）　　他の外国語　（独語　4）

（6）英語検定，IELTS，TOEFL，TOEIC 等の外国語学検定を受験している場合には，資格取得の年月，試験の点数等を語学欄，他の外国語欄に記入すること。例　英検準１級（Ｈ２８）　TOEIC４５０点（Ｈ２９）
（7）メールアドレスは、添付ファイルを受信できるものを記入すること。

(様 式 2)

研究業績調書

氏名

○印	テーマ	内　　容	発表等の時期及び方法	共同研究者

記 入 要 領

1 研究業績及び教育事業実績の記入は次の順序とし、かつ、同一項目のものについては年代順に記入する。
イ 学会誌　　ロ 公刊図書　ハ 機関紙・内部報告　　ニ 口頭発表　ホ 展観等
ヘ 研究調査　ト 教育事業実績 チ その他

2 研究テーマ等で代表的なものに○印をつける。

3 共同研究者の欄は主たる研究者に○印をつける。